

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	25 滋賀県
市区町村名	25202彦根市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
25202彦根市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	市内の教員の約54%(小学校約46%・中学校約66%)が、月45時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	・市内の全小中学校に1名以上の地域学校協働活動推進員を配置する(35名委嘱予定)。 ・地域学校協働活動推進員は、学校教職員と連携するとともに、学校と地域の連絡調整等を担い、教員の業務負担を図る。	・地域学校協働活動推進員の役割と重要性について理解を深めるための研修会を実施し、地域学校協働活動推進員の資質向上を図る。 ・「学校を核とした地域力強化プラン」にかかる事業事務の効率化を図り、学校現場の事務負担を減らす。	・学校・家庭・地域それぞれの役割分担を明確化することにより、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。 ・学校運営協議会の熟議を経て、地域学校協働活動が一体的に推進され、学校運営が効果的に進展する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	54	%	52	48	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が得られた。 ・令和6年度、11小中学校に学校運営協議会を導入したことで、全小中学校がコミュニティ・スクールとなり、地域学校協働活動が一体的に推進された校が増え、学校課題の解決に向けた地域学校協働活動が行われた校も増加してきた。 ・本事業に係る保険契約を委託先から市に一本化する等、事務負担の軽減を図り、委託先である学校現場の負担を減らした。	https://www.city.hikone.lg.jp/kosodate_kvoiku/kvoiku/8/20/22731.html